

## 第9回絆づくりこうなん実行委員会 会議要旨

日時：平成24年2月11日（土） 午後3時半～4時半

場所：市民・協働ステーション（情報センター2階）

中会議室

議題：『この指とまれ 絆づくりカフェ』

(1) 気づいた事、感想など

### 『この指とまれ 絆づくりカフェ』を振り返って

#### ■1日を振り返って

- ◆『この指とまれ 絆づくりカフェ』終了後、交流会で出ていた意見などを参考に、実行委員会による振り返りを行いました。
- ・ワクワク楽しみに今日を迎えたが、実際に予想通りでとても充実した1日だった。午後は交流会で様々な方と話げできた。今までのイベントは、パネル展示のみだったが、今回はプレゼンができてとても良かったといった意見があった。
  - ① 交流会はお茶を飲みながら実施できたら良かった。
  - ② 商品（フェアトレード）の購入がその団体への賛同、支援につながる場合、会場で物品を販売できないのは残念だ。物品の販売が可能な場所は使用料がかかることが多く、販売場所の確保は団体の悩み。市役所のロビーを定期的に市民活動団体に開放してもらえないか。市役所という場所は安心感を与えることができる。
- ・交流会で、異なる分野の団体と情報交換ができた。私のテーブルでは商談が成立し、今年の春、菜の花摘み体験のイベントを企画しよう！といった話になった。立ち話ではなかなか話せないところまでじっくり話げできた成果だと思う。

また、同じテーブルには広報をみて参加した一般の方がみえた。発達障害のある子どもさんをお持ちの方で、「同じような悩みを持つ人と交流するために今は名古屋に通っており、江南でも同じような場所を持ちたい。」と話された。同じテーブルのメンバーからは、「やれるよ！」といったエールの言葉が出た。

  - ① パネル展示で、統一の名札があった方がそろって見やすいし綺麗だと思った。
- ・今まで、いろいろなイベントを企画し実施してきたが、毎回、他人が失敗だと言っても自分だけは成功だと思っている。今回も間違いなく成功だった。「新しい公共」が叫ばれている昨今だが、まさにその活動だったと思う。今後もこの実行委員会メンバーで継続的に実施していけると嬉しい。実施していきたい。
- ・今朝、パネル展示の準備をしたが、思っていた感じと違って準備にてこずった。事前にしっかり確認しておけばよかったと反省している。

交流会の同じテーブルの中に、「今日、情報センターに初めて来た。」といった方がみえた。「市民・協働ステーション」は市民活動のための施設ですので、また来てください！と宣伝しておいた。第一回目の開催としてはとても有意義でよかったと思う。

  - ① 駐車場が不足していた。「車が停められなかったから帰る。」と声をかけてきた友人がいた。沢山の参加者があった表れであり嬉しいことではあるが、申し訳なかった。せめて市役所

西側くらいは絆づくり専用に使っていただきたい。

② プレゼンの後、質問の時間を設けてほしかったといった意見があった。

- ・午前中はカフェの担当だったが、交流会の最中に「ボランティアをしたい。」と言われる方がみえた。話し合いの途中からは参加しづらい様子で、「一旦帰ってガイドを見てまた午後から出直します。」と言われた。午後、私を訪ねて本当に来てくださり、嬉しく思った。

① 第1回で終わらないように、今日のような企画を月に一度くらい開催できると良いと思う。

② 交流会の途中で来場された方の対応を考える必要がある。

- ・1階の案内係を担当したが、会場全体の雰囲気がとても良かったといった感想である。パネル出展団体同士も、それぞれについて尋ねたり、説明したりしていて、組織間で話し合いが行われ、交流している様子だった。

交流会の様子を伺いに少し2階に上がってみたが、どのテーブルも真剣な眼差しで話し合われていて、積極的に交流している空気を感じた。これまではそれぞれの相互間のつながりが薄く、こういった場を望んでいる人が多いことを実感した。

① 今後、市民の参加を募っていくには、フェスティバルでブースを借りて、市内各地でPRするのも手だと思う。

② 「趣味に関する団体は出ていないの？」と声をかけられた。文化的な団体にも参加を呼びかけると、もっと絆が生まれるのではないかと感じた。

- ・交流会では、各団体の活動状況などじっくり話が聞けたりアドバイスができて良かった。午前中のテーブルでは、国際交流協会寺子屋とガールスカウトが「一緒に事業をしましょう。」と日程調整までしていた。午後は、「定年退職したがこれを機に何かやりたいと思い参加した。」と言われる方がみえた。一般の方でも参加しやすい場だったのではないかなと思う。今後もぜひ継続していきたい。

- ・今日に至るまで「参加はあるのか。」とドキドキしていたが、予想以上に盛況で、無事に開催ができホッとしている。実行委員の皆さんの企画、ロコミによる広がりたまものだと思う。また、今回の活発な交流の様子をみて、各団体が存在をアピールしたり、個々の活動を訴える場を必要としていることを実感した。



## ■実行委員会の今後について

- ・今後の実行委員会について、今回と同じような体制で継続するか、市からは離れて単独の体制をとるか。今後の組織について次回協議していきたい。形式は別にして、事務局としては今後も「交流会」を実施したいと考えている。団体PRを毎月行うのは難しいと思うが、出会いの場を継続的に設けていきたい。市が一方向的に企画するのではなく、今回のように、交流を求めている人の声で企画してもらいたいと思っている。
- ・継続していく努力は必要だと思うが、今回の体制は、行政が荷を負いすぎている。おんぶに抱

っこではいつまでたっても自立できない。環境フェスタのように実行委員会に委託してもらい、市から独立して、実行委員がやりたい企画を実施していく体制をつくらなければならない。

- 市から離れて単独の体制をとった方が企画・実行しやすいのであれば、その体制でお願いしたい。しかし、今回、予算は会場費（15,000円）のみだったので、それ以上の委託料を予算化するのには難しい。予算が必要であれば、絆づくり実行委員会を団体として設立し市のまちづくり補助金を申請してもらうなど、方法を考える必要がある。
- 今の実行委員会の力では、独立して委託を受けるのは難しい。
- 「委託」の件は、そのような選択肢もあるといった「案」の話だと思う。ところで、今回の実行委員会は、市の名前において広報し集められた。委員の任期としては「事後評価完了まで」となっていたが、「事後」とはどこを指すか。当初、目的が3つ（①江南市市民自治によるまちづくり基本条例の普及、②まちづくり組織間の絆の機会創出、③市民にまちづくりへの参加の機会を創出）あったが、これらを達成した時が「事後」だと考えると、今はまだそれに至っておらず、完全に達成するまでは今の体制のままで運営する必要があるのではないかと。
- 「実行委員会」という協議会がある以上、主体性を持つべきであり、市民の意見を生きたものにしていくのは実行委員会の役目である。行政には行政の考えがあると思うが、官の言うなりになるのではなく、実行委員会として考えを持つべきである。行政には、実行委員会の意見を取り入れてもらい、行政の考えを緩和してもらおう。行政によりかかったままではダメだと思う。
- 実行委員会のメンバーを増やすとして、いつのタイミングで誰が募集をかけるか。ふりかえりはどのように行うか。まだまだ見えていない部分が多く、これからも当分は今の体制で進めたほうがよいと思う。少なくとも2年は同じ体制で運営してみないと、一回りの流れが見えない。
- 何十年も同じ状況の中で「独立すべき」との話ならわかるが、私たちは実行委員会としてまだ始まったばかりだし、やっと今日、1回開催し終えたところだ。今の段階で「市から離れて単独で実施する」となれば、「そのような重い話なら辞退したい」との思いになるのが普通ではないか。独立や委託は、新しいメンバーを募り初期メンバーを拡大し、何度か開催してある程度の将来がみえてからの話だと思う。
- 「やれない！」というのは甘えで、今回の企画くらいなら、「やろう！！」と思えば実施できるはずだ。
- やれる、やれないだけではない。市役所には見守りの義務もあると思う。
- 市民自治によるまちづくり基本条例の基本には、「自分達のことは自分達でやる！」との考えがある。いつまでも官に依存している会だとは思われたくない。
- メンバーは市が募集するのか。現メンバーは継続で、追加メンバーを募るのか。一旦解散して新しくメンバーを募るのか。また「選考」という形をとるのか。
- 今回の規模であれば、現メンバーの人数でできる。
- 1回実施してみて集まった声もあり、次回に活かしていきたい。
- 今回のような交流会を年に数回実施するとして、実施しない時期に「市民活動の出前講座」を行ってはどうか。新しく募るメンバーにはその企画・運営に携わってもらってはどうか。
- 事務局としては、今後も「交流会」を実施したいと思っている。その場所が情報センターではなく、フェスティバルのテントの下になるかもしれないが、市民活動団体の「交流会」を継続的に実施していきたい。

- ・以前、地域の公民館に出向いて行って、絆カフェをやると言った意見も出ていた。
- ・交流会のとき、市の職員と一緒に話がしたいとの意見が出ていた。職員がいれば行政につながり、その場で話が進む。
- ・「職員」から完全に分離し、個人として参加してもらわないと、率直な意見は聞けない。例えば課長として参加するとなれば、市の職員「課長」としての意見が求められてしまうので、難しい面もある。
- ・年に2、3回交流会を開催するとしたら、何回かは単独で行ってもよいかもしれない。

## ■次回

- ・次回の日程は、3月13日（火）午後2時～4時
- ・メッセージカードの集計結果を元に、『この指とまれ 絆づくりカフェ』の振り返りや今後の実行委員会について、実行委員会メンバーで協議する。